

平和を考える 「小中学生作文集第三十二集」の発行によせて

沼 津 市

沼 津 市 教 育 委 員 会

沼津市は、昭和六十二年三月二十日に、市議会の議決を得て「核兵器廃絶平和都市宣言」を行いました。核兵器の廃絶は、世界の人々の共通の願いであり、核戦争の危機に対する市民及び市議会の意味を踏まえて、平和への願いをあらわしたものです。

以来、この宣言の趣旨について市民の理解と協力をいただくために、市内の要所にモニュメントを設置するほか、「原爆と人間」のパネル展などを開催してまいりました。

この作文集は、市内の小中学生が、授業や各メディア、身近な人の体験談などから、平和について感じたことを作文や詩で表現した作品を掲載したものであり、本年も多くの作品が寄せられ、第三十二集として発刊しました。

これまで、第一集の発刊以来、絶えることなく毎年発刊してきた作文集ですが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、発刊することができませんでした。今年度、二年ぶりに第三十二集を発刊できることとなり、発刊にあたって、ご理解、ご協力をいただいた小中学生の皆さんや関係者の方々に、心から感謝申し上げます。

戦後七十余年が経過し、戦争を実体験として聞くことができる機会は確実に少なくなってきました。そんな中、小中学生の皆さんが、戦争や核兵器の悲惨さ、平和の大切さや尊さを考える機会となるこの作文集は、これまで以上に重要な役割を担っていくと考えております。今後も皆さんが、この作文集を通じて抱いた平和への想いを胸に、平和な未来を築き、次の世代へ引き継いでいかれることを信じています。

どうか、一人でも多くの方々が、この作文集を読んでくださるようお願いしております。